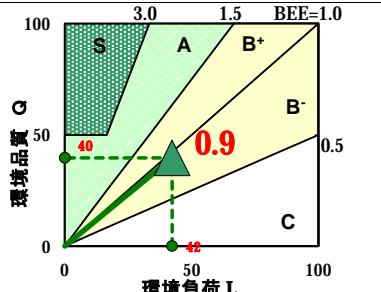
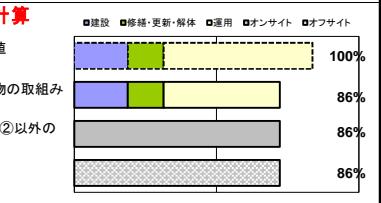
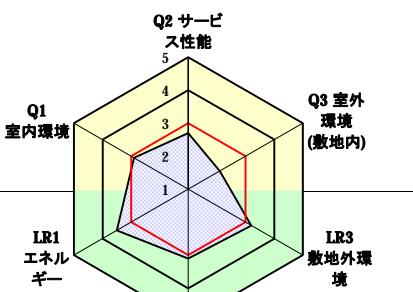
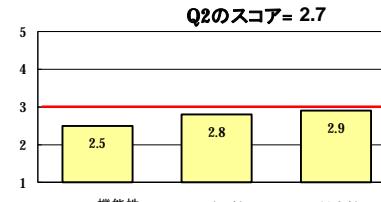
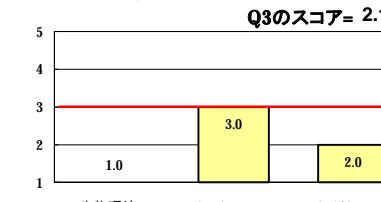
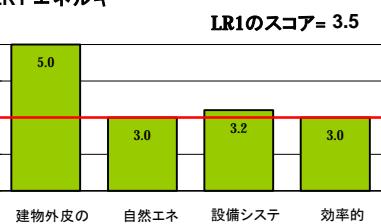
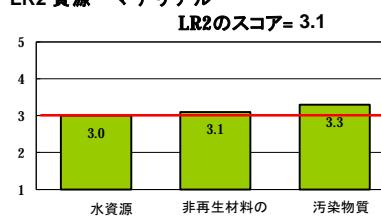
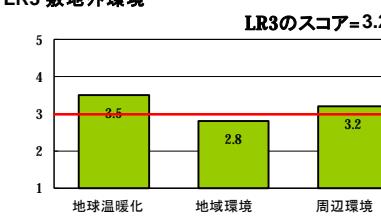


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 丸新様 新工場新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府岸和田市東大路町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	145 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年3月6日
敷地面積	3,406 m ²	作成者	勢旗 隆行
建築面積	1,535 m ²	確認日	2025年12月18日
延床面積	2,226 m ²	確認者	新谷幸司

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 0.9 ★★★★☆					
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★	30% ★★★★★ 60% ★★★★☆ 80% ★★★☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超:	30% ★★★★★ 60% ★★★★☆ 80% ★★★☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超:	30% ★★★★★ 60% ★★★★☆ 80% ★★★☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超:	30% ★★★★★ 60% ★★★★☆ 80% ★★★☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超:	30% ★★★★★ 60% ★★★★☆ 80% ★★★☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超:
					
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもので					

2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 2.5		Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.1	
Q 環境品質	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 2.1	Q3のスコア = 2.1
Q1のスコア = 2.9	Q1のスコア = 2.9	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 2.1	Q3のスコア = 2.1	Q3のスコア = 2.1
					
LR 環境負荷低減性	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LRのスコア = 3.3	LR3のスコア = 3.2
LR1のスコア = 3.5	LR1のスコア = 3.5	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.2	LRのスコア = 3.3	LR3のスコア = 3.2
					

3 設計上の配慮事項		その他	
総合	ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他	特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
2.5% ≤ [星光率] 照度が500lx以上1000lx未満。 JIS・JAS規格のF★★★★★をほぼ全面的に採用している。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	排水VP(B)、消火SGP(白)(C)、冷媒管(C)、EIは不使用。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3 配管内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。 LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	特になし。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
BPIm=0.65。 BEIm=0.78。	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率が86%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		株式会社 丸新様 新工場新築工事				
建設地		大阪府岸和田市東大路町				
用途／区分		工場 事務所				
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B-	
①	CO2削減				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策				2	
③	断熱性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
④	エネルギー消費性能				3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
エネルギー消費量の報告						報告しない
【評価項目】						
項目	評価内容					スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.5
② みどり・ヒートアイランド対策						4
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない
その他						
先進的技術の導入			技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項		ライフサイクルCO2排出率が86%。 BPIm=0.65。 BEIm=0.78。				